

議会だより

NO.20

 吉野川市



「小さな収穫」原田 宏（鴨島町）

目次

代表・一般質問……………P 2
議案の審議から……………P10
税の徴収で議論……………P13

市民のページ・クイズ……………P15
市民の皆さんへの募集……………P16

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883) 22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883) 22-2242

2009.11.25

質問

●の質問を中心に取り上げました。

質問が 台風9号水害対策に集まる

代表質問

- ①後藤田 哲夫 議員
- 台風9号による水害対策について
 - 子育て支援について
 - 舗装整備と生活実態に伴う課題解消について

②高 木 純 議員

- 市内河川の排水機場について
- 災害対応時の職員初動マニュアルについて

○ 災害時における防災無線とホームページの活用について

○ 県営事業の市町村負担金について

③工 藤 俊 夫 議員

- 都市計画の見直しについて
- 内水対策について
- 県権限移譲について

- 学校給食センターについて
- 武道の必修化について

一般質問

④榎 納 謙 司 議員

- 中学校への剣道必修化について
- テレビ放送デジタル化について

⑤枝 澤 幹 太 議員

- 安心・安全なまちづくりについて
- 未来を担う子どもたちの教育について

- 地域間格差について

⑥相 原 一 永 議員

- 子育て支援の充実について
- 定額給付金について

- 障害者福祉の向上について
- 本の読み聞かせについて
- 美郷の鶏糞焼却施設について

⑦栗 原 五 男 議員

- 新型インフルエンザへの対策について

- 庁舎統合について

- 大雨災害について

⑧岡 田 光 男 議員

- 水害対策について
- 住宅施策について

⑨藤 原 一 正 議員

- 市営住宅について

⑩岸 田 秀 樹 議員

- 浸水対策について
- 防災局としての取り組みについて
- 公共施設の取り扱いについて

代表・一般

ここが聞きたい

9月議会定例会では10名の議員が代表・一般質問を行いました。

代表質問



後藤田 哲夫 議員
(麻植会)

台風9号による水害対策について

(質問)

関係機関に強く働きかけたい

(答弁)

質問 今年度完成した川島排水機場は、今までの1・5倍の処理能力があり、床上浸水は解消できると、国土交通省も自信を持って説明していた。川島地区では、縫製工場等が被害に遭い、布地並びに機械等が浸水によりすべて廃棄処分したと聞いている。長年の夢であった排水機場が完成し、地域住民はこれで安心だと、完成を非常に喜んでいた矢先の出来事で、今後、排水機場の能力を十分発揮すべき努力を国土交通省と協議すべきである。

山田地区においても豪雨による、がけ崩れ、家

屋の崩壊、湯吸谷川の崩壊などいたる所で被害が発生しており早期に安全対策並びに河川改修工事をすべきである。県と協議し河川の適正な管理に努力すべきではないか。

建設部長 現在のポンプは毎秒18トンの排水能力がありながら、被害を軽減することができなかつたが、関係機関に強く働きかけていきたい。

河川管理は市が260河川、県が管理する一級河川は32あり今後パトロールの強化、状況把握に努め堆積土砂や流木を除去し危険な箇所の改修に努め、正常な機能の保持

に努めていきたい。

【その他の質問】

質問 子育て支援センター内の子ども用の手洗い、トイレなど整備すべき。

答弁 施設ができてい

るので今後真剣に取り組んでいきたい。

質問 待機児童の現状と対策は。

答弁 今後待機児童の解消に努力したい。



鴨島町森山郵便局前の県道



高木 純 議員
(日本共産党)

台風9号時の市内河川排水機場の稼働状況は

(質問)

各河川とも自然流下とあわせてポンプを稼働している

(答弁)

質問 8月9日と10日の台風9号による記録的な豪雨により市内河川が瞬く間に増水し、道路の冠水はもとより床上・床下浸水もあつた。この豪雨の雨量は30時間の間に約600ミリ降っており、これは市の年間降水量の3分の1にあたる。これだけの雨量だと、仮に排水機場のポンプがフル稼働しても間に合わないほどのとんでもない雨だったとも考えられる。

防災局長 各施設の稼働状況は、川島町の桑村川は1号ポンプを9日の

15時12分より22時41分まで。2号ポンプは18時4分より22時3分まで。10日は1号ポンプを6時53分より18時21分まで。2号ポンプは6時50分より19時23分まで稼働。学島川の学島排水機場は、8月9日2号ポンプを6時6分より11時19分まで稼働。同じく、学島川の学島川排水機場は、8月9日1号ポンプを12時11分より16時50分まで。2号ポンプは14時13分より14時58分まで。8月10日は1号ポンプを5時8分より12時34分まで。2号ポンプを5時22分まで稼働。

山川町の岩屋谷川排水機場は、8月10日、4時30分より13時30分まで排水ポンプを稼働。また、



工藤 俊夫 議員
(日本共産党)

学校給食センターへ提案

(質問)

よりよい施設づくりを進める

(答弁)

質問 本市の課題である学校給食センター新設について、人吉市の学校給食センターを視察した。

この施設では、建設時にいろいろな提言を受けて建設されたが、そこで次のことについて伺う。

①この提言に至るまで6度の委員会を開催し、作成、提出されたそうだが本市の計画を進めるに当たり指導を受けてはどうか。

②本市学校給食センターの建設をきつかけとし、地産地消をより進めるよう広く呼びかけてはどうか。

③文部科学省より米飯給食の推進を受けたことを踏まえ、食べやすく工夫し回数を増やすべきと考

えるかどうか。以上伺う。

教育次長

①先進地の助言等を参考にしながら進める。また委員会のような施設の具体的な内容を検討・提言する組織は必要であると考え。

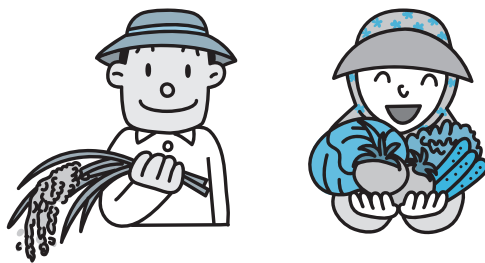
②平成20年度の食材全体の地産地消率は8.7%、野菜類・穀物類は全体の21.7%、そのうち地元産は40.6%となっている。今後、提案を踏まえ給食を提供していきたい。

③本市における実施状況は、週平均2.5回。保護者からも回数を増やしてほしいという要望はあるが、クリアしなければならぬ問題もあり実現していない。現時点では

難しいが、米飯給食を増やすことにより献立内容に幅ができるメリットもある。週3回程度の実施に向けて検討する。

再問 現在の給食センターの進捗状況は。

教育次長 現在、民有地を目標として折衝している。決まり次第報告する。



「その他の質問」

質問 都市計画区域の見直しは。

答弁 関係機関と協議していく。

質問 飯尾川の改修状況は。

答弁 積極的に取り組む。

質問 国における中学校の武道必修化に伴う整備は。

答弁 24年度の実施に向け調整中である。



再問 市民にはあの増水時においてポンプの稼働状況は分からないので不安になることもある。市は河川の増水時において、防災無線なり、ホームページなりでもっと市民に情報を提供すべきではないか。

あわせて県の排水ポンプ車を設置し、排水している。飯尾川については、角の瀬排水機場に2名から3名が待機したが、排水ポンプは操作せず、自然流下による排水である。以上が、各排水機場の稼働状況である。



新しくなった川島排水機場

答弁 できるだけ早く市民の皆様にも速やかに情報が提供できるよう検討したい。

「その他の質問」

質問 災害発生時の職員初動マニュアルに不備があると思うが。

答弁 今回の災害対応においては職員初動マニュアルに不備な点があり、今後、見直しをしたと考えている。

一般質問



榎 納 謙 司 議員

テレビ放送のデジタル化について

(質問)

国に支援を要望する

(答弁)

質問 テレビ放送がデジタル化することにより、経済的、精神的に負担を強いられる高齢者世帯などがあるがどのような思っているのか、市長の考えを伺う。

市長 地上デジタル放送への完全移行に対して、国及び放送事業者の責任において、自治体に

新たな財政的な負担等を課すことがないよう、受信環境の整備に十分な支援措置を講じるなど難視聴地域解消のため万全の方策を講じること、受信機購入の助成、低所得者への支援策とその充実を要望している。

再問 高齢者で年金生活者にとっては、ケーブルテレビに加入するには約12万円と毎月6000円程度必要となり、大きな負担になるため生活が苦しくなる家庭が増える。市長として国に強く要望し、高齢者の生活の楽しみを守るべきと考えが見解を伺う。

市長 全国各市共通の問題と思うので、県市長会、全国市長会において、懸命に努力したい。



デジタル用アンテナ(上の部分)

「その他の質問」

質問 中学校への剣道必修化の目的と受入れ体制は。

答弁 武道の伝統的な考えを理解し、相手を尊重できる心を育てる。武道場のない学校は体育館を使用する。



枝澤幹太議員

川島町公民分館の再編案について

(質問)

地域の特性や個性を生かしたい

(答弁)

質問 市教育委員会より、川島町公民分館連絡協議会に地区公民館1館、公民分館4館を残し3館は老人憩いの家に移行し、他の22館は各自治会の判断で集会所として残すか、廃止とするかの提案説明があった。平成19年以来地域での説明も徹底されず平行線をたどっており、現状では賛成できない。平成22年4月の実施期限が迫っているので実施の猶予や費用の補助等折衷案でも見いだせないかとの強い要望がある。市として今後どのような対策をとっていくのか伺う。

教育次長 平成19年11月川島町公民分館連絡協議会で再編計画を示し3年

間の経過措置を設け平成22年3月までに段階的に実施する旨を各地域での説明会や自治会長・各分館長との協議、説明会を行ってきた。公民館の位置づけとして基本的には地区公民館までが行政で運営する範囲であると考えている。

再問 現在の東児島公民分館を地区公民館に格上げするのであれば、駐車場や会議室を拡張、増設等し、条件整備を進め地域の社会教育、生涯学習の拠点として、更なる利用や活動が向上する様努力すべきでないか。

副市長 各小学校区に1公民館をつくり、館長、主事を配置し、社会教育

活動を進めるのが基本である。使用実態が自治会の集会所であれば自治会の管理としてお願いしたい。川島町での公民館・分館は社会教育活動、生涯学習に非常に貢献してきた事実を十分承知している。移行については住民への理解と、協議

を重ね条例改正に努めた

再々問 地域住民への説明を今後どの様に徹底するのか。

市長 地域の特色や個性を生かした施策を推進する。



川島町東児島公民分館



楽原五男議員

新型インフルエンザへの対策は

(質問)

市のホームページ等で啓発

(答弁)

質問 新型インフルエンザがまた猛威を振るっている。フェーズ6まで引き上げられたのち、収束の方向に向かっていったが全国で11人も人が亡くなっている。市民に対する予防など周知方法等、新型インフルエンザへの対策、対応を伺いたい。また、全国で370校もの学校で休校や学級閉鎖などに追い込まれていると聞くが、学校現場での予防などの対応と延期になった修学旅行はその後どうなっているのか、あわせて伺いたい。

防災局長 新型インフルエンザは流行の段階にあると見られており、全国的にも感染拡大の一途であり、8月20日には、本

市でも、集団感染が発表されたところである。当市では4月28日新型インフルエンザ対策本部を設置し、行動計画を策定した。それに基づき厚生労働省からの指針、徳島県からの情報等により防災無線、ケーブルテレビ、パンフレット、市のホームページで市民への啓発広報活動を実施している。また、感染に備えてマスク、消毒、防護服などを感染対策備蓄品として確保している。今後毒性を含めたウイルスの第2波の感染拡大が懸念されるため、小・中学校・庁舎・公民館・隣保館など市内の公共施設に手指消毒薬を配置し感染予防対策を行っている。感染拡大に備えて予防方法、



相原 一 永 議員

子育て支援の充実について

(質問)

児童数の推移、保護者のニーズ等を考慮し充実を図っていききたい

(答弁)

のか。

福祉事務所長 子育て支

質問 近年、核家族化の進行に伴い家族形態や地域社会の変化で、子育てをめぐる環境が大きく変化し、家族のみでは負いきれなくなってきたため、地域全体で子育てをサポートしようという事業が進められ、本市においても、本年4月、川島庁舎内に「子育て支援センター」が開設され非常に喜ばれていると聞く。

この様なセンターは、子育て支援の拠点となることから、安全で安心して暮らせるまちづくりに欠かせないと考えるが、川島地区に次ぐセンターの開設、児童館等の充実をどのように考えているのか。

のか。

福祉事務所長 子育て支

援事業については、学童クラブが12か所設置されていて、現在川田小学校区で学童クラブ設置に向けて準備が進められている。児童館は市内4か所に設置されていて年間約2万7000人が利用している。4月に開設した「子育て支援センター」では、8月までに1日平均41名が利用し、延べ4242名の利用者数となっている。同センターでは育児相談等が43件あり、専門的な支援、指導をワンストップで対応しているため大変好評である。保育所関係では、少

子化、施設の老朽化、耐震化など課題が山積しており、将来における保育所の適正な配置など検討しつつ施設の整備、統廃合を検討したい。

今後における子育て支援施設等の充実については、将来児童数の推移、財政事情などを考慮し、保護者のニーズや施設の現状に適切に対応しながら、支援施策の充実を図っていききたい。

【その他の質問】

質問 人工内耳用の電池は補聴器とは違い、医療機器であるため助成制度がない。市単独事業で助成できないか。

答 弁 人工内耳用電池への助成は全国的にも少なく、徳島県において助成をしている市町村はない。今後全国、徳島県等の動向を注視し検討したい。



子育て支援センターで遊ぶ親子(川島庁舎)

受診方法、自宅療養の注意点など新型インフルエンザの対応について引き続き広報活動を実施していきたい。特に基礎疾患のある患者、妊産婦、乳幼児には注意が必要であるため、健康福祉部と連携をし、より一層の注意喚起を促したい。

教育次長 修学旅行については現在、小学校が14校中5校、中学校が5校中4校が実施済みで残りの小学校9校と中学校1校については9月中旬から11月末までに実施予定である。新型インフルエンザの流行が懸念されているが、各校とも健康・安全面に十分留意しながら実施に向けて準備を進



めている。毎月の園長・学校長会で対応について、周知徹底を図るとともに県教委からの情報を周知し、危機管理組織及び緊急連絡体制を整備するよう指導し、県・市から出されている感染予防対策を参照し、手洗い、うがいや咳エチケットについて子どもたちへの指導徹底を図るよう指導している。

【その他の質問】

質問 庁舎改築に環境問題を考え太陽光発電・LED照明を取り入れる考えは。

答 弁 人に優しい親しまれる庁舎になるよう検討する。

質問 川べりの土盛りが削られ水が氾濫した内原の麻名用水への対応は。

答 弁 麻名用水土地改良区へ氾濫箇所を嵩上げするよう要望。



岡田光男 議員

市の住宅政策は定住に逆行

(質問)

改修工事で住人の利便性を優先

(答弁)

質問 市民の市営住宅を希望する声が多いが、なかなか入居できない。住宅建設や上浦の雇用促進住宅の活用が必要と考えるが、本市の住宅事情について伺う。

建設部長

現在本市は919戸の市営住宅を管理し、そのうち82戸については耐震等にも問題があり入居させていない。新しく住宅を建てるには、用地取得などに補助金がなく難しいと考えている。

平成19・20年度の募集戸数は8戸・4戸、応募件数は28件・10件となっている。住宅の改修については5か年計画で国の補助を受け改修工事を行っている。

雇用促進住宅の入居については、派遣切りなどで住居を失った人に対して入居ができるようになってきている。市としては時期がきた段階で雇用促進住宅の購入についても検討したいと考えている。

再問

耐用年数を過ぎた426戸は修繕するのにか、また、新たな建設は難しいということだが、民間住宅の空き部屋を借り上げ市営住宅とすることは考えられないのか。

建設部長

耐用年数を過ぎた住宅については、耐震補強も難しく、順次取り壊していく計画である。多様な供給方法ということでは既存住宅を活



藤原一正 議員

母子家庭・高齢者等の優先的な入居は

(質問)

今後は財政状況を見ながら検討したい

(答弁)

質問 日本の経済状況が悪くなり経済的に苦しくなった方々、また、離婚により母子家庭になった方々が、どうにか市営住宅に住めないのかという要望がたくさんありますが、この5年間どういった対策を協議してきたのか伺う。

用等も今後は考えて対応していきたい。

再問

民間住宅の活用についても、民間も採算が合わなければ動かないので、民間と折り合いが付くのかという問題がある。

建設部長

平成18年度から平成22年度までに3億8000万円程度をかけて住宅を改修しており、耐用年数を過ぎた分については建て替える以外に方法はなく、今後は財政状況を見ながら検討していきたい。

また、低所得者に対しての住宅の対応については、市営住宅には限りがあるため、民間住宅の活

本市の人口増のためにも住宅施策が必要ではないのか。また、低所得者の方が優先的に住めるようになってきているのか。問い合わせ件数に対して応募件数が少ないというのは、あきらめているということであるので、本市の優先施策としてやらなければならぬと思うが。

建設部長

民間住宅の活用については、高齢者向

け優良賃貸住宅建設補助金があり、市内でも検討している方がいますので、できる可能性はあると考えている。

定住促進については、プロジェクトチームを部局横断的に立ち上げ検討していますので、その答申が出てから協議し検討していきたいと考えている。

母子家庭・高齢者等へ優先的に対応することについては、現在の住宅状況では対応するだけの住宅がなく、そのような方々に優先的にはできていないのが現状であり、今後は市営住宅についてのどのような施策がとれるか十分に検討したいと考えている。



建て替えの必要な市営住宅

用した借り上げ公営住宅供給の促進に関するガイドラインが平成21年5月に国土交通省から出されており、今後調査研究していきたい。上浦の雇用促進住宅については、一般の方の申し込みは受け付けないということだが、今後の動向を見ながら対応していきたいと考えている。



市営住宅 = 川島町

再々問 新たな市営住宅の建設計画もなく取り壊していくだけでは、市の定住促進に逆行しないか、また雇用促進住宅について、市は積極的に活用すべきと考えるが。

市長 現行は住んでいける人の利便性を優先し、改修工事に対応したい。雇用促進住宅については、3年後の時期が来た段階で市営住宅として活用できるかどうか判断もしていきたい。

「その他の質問」

質問 三谷川の改修や堤防の嵩上げ及び送・配水管の移動は。

答弁 県に対して強く要望を続けていきたい。来年度に送・配水管の布設がえ工事を行いたい。



岸田 秀樹 議員

市長と職員の危機管理意識は

危機管理の思いは持っており、対応を考えている

(答弁)

(質問)

質問 市街化区域内の雨水対策において、平成17年から議会において質問している雨水3号幹線(喜来・内原・麻名用水北側地区)は毎回集中豪雨になれば浸水するという問題、特に6億円の金額をかけて未成工事として埋設している幹線の活用を聞いているが、市当局としては何らかの方法を考えると言ったままだが、今後どのような対策を講じるのか。

また、鴨島東消防署から始まる鴨島中央雨水1号幹線は現在稼働しているが、周辺の道路冠水や徳島銀行周辺は特に複雑な排水経路になっている。その為に雨水1号幹線に直接排水するには道路流

入口が小さい為に十分な排水機能を備えているという状況ではないので、大きな排水流入孔を数多く作り速やかに排水するという方向性を考えられないのか。

水道部長 鴨島中央雨水1号幹線は、今回の豪雨でもポンプ場に余裕があったことから、道路側溝等の上水をより多くの箇所へ流入させる必要がある、整備できている施設の有効活用を考えていきたい。雨水3号幹線については、ポンプ場を含めて残事業に約27億円必要なので現在の財政事情では困難な為に、地域住民の要望である完全排水ではなく浸水時間の短縮という方向で計画規模の縮

小並びに江川に強制排除するという方向でいく為には、予算が必要なので国・県に対して協議を行い事業の再認可と予算づけを要望していきたい。

再問 雨水3号幹線区域は市の中心部からの流入・麻名用水からの越流などにより浸水しているのが現状です。提案としては、麻名用水が江川と接近している牛島停車場線(新設道路)の橋の下流で麻名用水を緊急排水路として一部の水を江川に放流すれば多少なりとも上流域の浸水を抜くことができるのではないかと。また、飯尾川においても向麻山周辺地域の川沿いは用地買収ができていない地域があるので浚渫(はらひ)を行い遊水池・貯水池を作ってはどうか。昔、陳情で国土交通省徳島事務所に行った時に当時の所長から上流域で遊水池・貯水池を作って下さい、河川の整備は何十年もかかりますから地域ごとに対応をして下さいと言っていたので、本市としても対応をしていく方針は

ないか。

建設部長 洪水時に麻名用水の水を江川に放流する事は縦断的に可能だと考えるが、流域の違いや麻名用水組合との協議、流域市民の皆さんのご理解が必要であり、方法を検討する為に現地調査を本年度に行いたい。飯尾川については、洪水時の貯留については、用地買収済みの箇所では河道掘削や拡幅をする事は可能と考え、県に対してねばり強く要望をしていきたい。



台風9号で浸水した田畑(鴨島町)

議から

日程：平成21年8月31日～9月18日

9月定例会では、条例関係案2件、予算案6件、決算案11件、その他7件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

文教厚生常任委員会

子供医療費の助成 小学校卒業まで拡大なる 11月より実施

吉野川市乳幼児等医療費の助成に関する
条例の一部を改正する条例制定について

質問 制度改正により、医療費助成の対象者が拡大されるが、助成額の試算と対象人数はどのくらいか。また、対象者を義務教育終了までに拡大する考えはあるのか。

答弁 医療費助成の試算額は、7歳から9歳までの補助事業分3600万円の内、市負担分は1800万円、市単独で行う10歳から12歳までの分は2800万円であり、合計で約4600万円である。



対象人数は、2256人で、内訳は7歳から9歳が1090人で、10歳から12歳までが1166人である。
また、今後の対象者拡大については、財政も伴うので慎重に検討したい。

吉野川市立山川東保育所の指定管理者の指定について

質問 一般会計補正予算で、臨時保育士の予算要求があったが、9月に補正予算が計上されるといのはどうなのか。また、指定管理をした場合、

合、前回と同様に臨時職員を受け入れしてくれるのか。

答弁 一般会計補正予算は、今年度4月からの

途中入所の児童に対応するために雇用した臨時職員に対しての賃金である。
指定管理の件については、事業計画等により優先的に臨時職員を雇用するという話がある。

平成21年度吉野川市一般会計補正予算第2号について

質問 船窪オンツツジ基礎調査委託料とあるが、どのようなところに委託をするのか。

をし、ツツジの群落内の植物層の把握や、植物流リストの作成などの基礎データの収集を行い、次回の保護検討委員会等で審議を行う。

答弁 徳島大学環境防災研究センターに委託



活力剤の注入作業

質問 壇の大クスについて、活力剤の注入などにより、ある程度よみがえってきたと聞いているが、現状と今後の予定はどうなっているのか。

平成21年
9月議会

定例会 議案の審

答 弁 4月中旬に大クスが枯れているのではないかと、という連絡があり、樹木医に診断をしてもらった結果、乾燥しやすい土地にあり、近年の異常気象による渇水等の影響であるとの診断でし

た。第1次処置として、樹木への活力剤の注入を行い、その後、県の文化財課と樹木医師会と協議し、土壌灌注^{かんちゅう}を行い現在は、経過観察中である。今後は、薬剤の葉面散布を9月から10月にかけて

一度行い、今年末まで様子を見る予定である。

質 問 大クスの近くにゴミ焼却場があり、往來するパッカー車等の影響は考えられないのか。

答 弁 過去の舗装工事や車の振動などもあるが、その影響とは考えにくく、やはり近年の異常気象によるものであるとの見解である。

◇以上異議なしで可と決定

※土壌灌注^{かんちゅう}とは、薬剤を土中に注入する、新しい害虫対策です。

産業建設常任委員会

特産品の宣伝に
ホームページの工夫を平成21年度吉野川市一般会計補正予算
第2号について

質 問 他市のホームページを見ると、市民向けと、市外向け・企業向けがある。本市の場合は市民向けになっており、その中で特産品を宣伝しても、市外の方が本市のホームページから検索してたどり着くのは難しいと思うので、ホームページ

の工夫を、担当課と検討してはどうか。

答 弁 特産品として認定する訳ですから、全国に向けての発信を考えていきたい。その中で、ホームページへの掲載による宣伝も、一つの案であると理解していますの

で、本市のホームページ担当課と協議する中で、いろいろと検討していきたいと考えています。

質 問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金で公営住宅の修繕の補正予算を付けているが、詳しく

く説明を。

答 弁 平成18年度から平成22年度までの5か年計画を実施しており、その中で平成22年度に予定していた鴨島町の喜来第5団地を、今年度を実施することにした。

質 問 この5か年計画の事業について今後の計画はあるのか、もうこれで終わりなのか。

答 弁 平成22年度で実施予定分を、平成21年度に実施するので、平成22年度分については、財政部局とも協議をしなければならぬが、美郷の川俣団地の改修計画を予定している。



市道路線の認定について

質問 道路認定をする時に、旧鴨島町と旧川島町では受け取り方が違っていたが、新市になってから宅地造成をした場合には、造成した段階で舗装をしていけば受け取っているが、その後、5年間が経過して舗装が悪くなった時は、どのような対応をしているのか。

答 弁 吉野川市道路認定指導要綱の中に、市道路線認定後、最低5年間、市は補修の義務を負わないう。もし、補修の必要が生じた時は、元に分譲業者に補修の義務がある。なお、5年を経過した場合は、市に補修義務が発生する。

平成21年度吉野川市農業集落排水事業特別会計補正予算 第1号について

質問 今回の補正で、設計委託料90万円、管路施設工事150万円とあるが、150万円の工事に、90万円の設計委託料がかかるのか。

り、設計委託料90万円についての本工事は来年度に予算計上する。
◇以上異議なしで可と決定

答 弁 150万円については、仮設工事費であ

総務常任委員会

平成21年度吉野川市一般会計補正予算

質問 集会所整備補助成補助事業について、その場所及び補正額22万9000円の助成率ほどのくらいであるか。

答 弁 今回の助成は、山川町の宮島南自治会、南町自治会の2自治会で、助成率は対象事業費の3分の1となっている。

財産の取得について

質問 消防ポンプ車購入入では、指定競争入札となっているが、特殊車両であるので業者が限定されるが、何社指名したのか。

贈した事例もあるが、この様なことも考えているのか。

答 弁 指名業者は、12社指名し内2社が辞退したので、10社で入札を行った。

答 弁 現在、消防車両の製作には時間を要するため、その間旧車両で対応することとなる。旧車両の処分については検討中であるが、海外への寄贈についても検討しているが、考え方の一つとして、市内の消防協力事業所等があり、使用に耐えられる車両については、そこでの利活用も検討している。

質問 消防ポンプ車を5台購入することであるが、旧車両は下取りで処理するのか。前には、使用できる車両については、海外に寄

また、車両に配備され

ている備品については、各地域で活用可能な物については、地域活動に活用していただきたいと考

えている。

◇以上異議なしで可と決定

庁舎統合特別委員会

中間報告

審査の内容としては、8月の大雨の現況を踏まえ進入路を含めた用地取得、建築位置の問題を審査いたしました。

らアクセス道路は、市民サービスの観点から重要であることから、実現できるように要望いたしました。

用地取得については、対象用地は県有地の一部及び隣接の民地の約10000㎡に絞り交渉することとなりました。用地については市は協議を進めているとのことでありますが、委員会としては、本郷春日免線か

建築位置については、用地の確定をみて、利便性を考慮し、再度検討することといたしました。次に、支所機能関係であります。支所機能検討部会より、現況報告があり市民サービスを低下させないように今後において検討していくとの報告がありました。

意見書

2011年の地上アナログテレビ放送の打ち切りを延期するよう求める意見書

提出者 岡田 光男 議員

◇全会一致で可決

税の徴収で議論

平成20年度 決算特別委員会

平成20年度吉野川市一般会計歳入歳出 決算認定について

質問 税の不納欠損が2300万円程度、収入未済額が5億1500万円程度となっているが、この対応についてどのように取り組んでいるのか。

答弁 不納欠損処分では、規定に基づき所在不明者、財産調査をした結果、納付できる財産が無い者、差し押さえ執行により生活が著しく困窮する場合に処分を行っている。

質問 審査意見書によると、契約に関する事務で不適切なものが認められたとあるが、どのようなことが説明願いたい。

答弁 契約上不適切な部分については、郵政民営化の実施により、契約の変更手続きが不十分であったことで、その内容が形式的要件の部分での不備であったことから、関係部局において対応し

処理されている。

質問 他市では、全職員が税の徴収に取り組んでいるとの事だが、本市での取り組みはどうか。

また、税を滞納すると延滞金が発生することになるが、本税、延滞金の徴収はどのように行っているのか。

答弁 税の徴収については、市民の皆様の理解を得ることも必要であり、職員意識の高揚といった課題もあるため、担当課と調整してみたい。

徴収については、滞納整理機構に移管するなど、各法令に基づき、公平な観点から徴収事務に努めているところであるが、なお一層、徴収強化月間の推進などのほか、職員の資質向上に努め、徴収事務に取り組みたい。

平成20年度吉野川市国民健康保険特別 会計歳入歳出決算認定について

質問 国保税の滞納延滞金の徴収で、平成20年度は約22万円程度の決算だが、延滞金の課税額はかなりの金額であると思う。滞納整理機構に移管したものについては、延滞金も徴収しているのだから、同じ市民で矛盾しているのではないか。

答弁 悪質な滞納者に対しては、滞納整理機構に移管している。

税務課では、市税3税と国民健康保険税の徴収にあたっており、徴収においては公平性を保つために努力しているが、結

果として本税を優先して徴収事務を進めている。今後も公平性を保つために努力していきたい。

質問 後期高齢者支援金と老人保健拠出金があるが、どのような関係か説明願いたい。

答弁 老人保健拠出金は、旧老人保健制度が平成19年度で終了したが、その後2年間において支払いがある市の負担金で、後期高齢者支援金は、平成20年度から始まった新しい制度における市の負担金である。



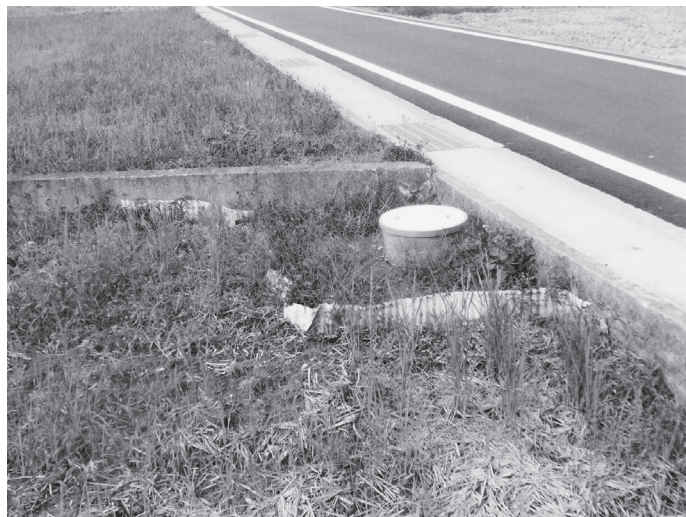
平成20年度吉野川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 公共下水道事業では、農地や都市計画区域内で公共枡を設置したままになっている。

つなぎ込みを積極的に推進しなければ、大雨時等に不明水が処理場に多く流入してくることにあり、無駄な処理経費が必要となるが、この対策をどのように考えているのか。

答弁 鴨島中央処理区

には畑の中に枡を付けているケースがあり、不明水が多く流入してくることもある。今回、補正予算を計上しているが、緊急雇用対策で接続促進を兼ねて、枡調査から行い不明水の解消をしていきたい。



畑の中にある公共下水枡

平成20年度吉野川市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 川島処理区の入率が低いのは、人数制から従量制に変更となり、使用料が高いので接続しないと聞いている。また、面整備が2年ほどしか経過していない状態で、料金改定が行われたことが要因となっていると聞くが、加入促進をどのように考えているのか。

時とほぼ同じ使用料となっている。川島処理区の接続率が低いのは、面整備が2年なので追いついていないのが現状である。今後、加入促進に努めて行きたい。

答弁 使用料については、従量制で150円となっているが、人数制の



平成20年度吉野川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

質問 川田北処理区で機能強化をした部分が機能していないとのこと、訴訟問題となっているが、汚泥処理等の問題はどうかになっているのか。また、清掃業者への委託費用はどうか。

答弁 訴訟については継続して審議している、汚泥処理費用については提訴金額の中に含まれている。

平成20年度吉野川市水道事業会計歳入歳出決算認定について

質問 損益勘定留保資金で補填されているが、この留保資金を仮に本年度も使うとすると、来年の決算では値上げをしなければならぬ可能性があると思うが、留保資金の説明を願いたい。

また、本市の有収率は、有効率は平成18年度から下がっており、全国平均、徳島県平均より低いと指摘されている。この改善策はどのようにしているのか。

答弁 損益勘定留保資

金は、補填財源であり、水道ビジョンで予定している投資的事業の建設改良費や企業債償還金を賄うため補填財源を確保する必要上、今後において水道料金の改定を余儀なくされると考えている。また、有収率等の改善は、毎年、低い地域の漏水調査を行い改善を図り、10年間で有収率88%以上を目標に、老朽管等の改善を進めていきたい。

◇以上異議なしで可と認定

本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

TEL 22-2241

市民のページ

もつたいたい

山川町 工藤慶子

少し前になります。が、「もつたいたい」という言葉が取り沙汰されました。そこで私も常々感じていたことがあります。

50代の私は高度成長に育ち便利さを覚えた反面、まだまだ発展途中だったり、オイルショックも経験し、物の大切さも知っている筈でした。ところが、気付いた時に「もつたいたい」ことを無意識にしているのです。

例えば、物を汚したり、こぼした時、昔はフキン・ぞうきんで拭き、それを洗って繰り返し使っていました。なのに今はどうでしょう。さっとティッシュに手を伸ばしているのです。確かに即座に使え、後も捨てればおしま

い。でもゴミとなり市の指定袋に入れて燃やしてもらわなければなりません。森林を伐採して加工された大切な紙を粗末に扱っているのです。当然、温暖化に逆行し地球に優しくありません。某テレビ番組で「手ぬぐい」の特集を見ました。昔は、汗拭き・顔拭き・物拭き・巻く・かぶる・ふき

ん、古くなればおむつにし果てはぞうきんと最後まで活用したものです。手ぬぐいの良さの再発見でもあり、物を大切に使う「もつたいたい」につながるのです。誰かの言葉に「小さな事からコツコツと」ありましたが、これって私にも出来ることで、たとえ一人でも出来ることを実行し、続けていくことが大切なことですね。例にもれず色んな事で「もつたいたい」を心掛けたいと思いました。



なんと読む
ので
しょうか？

- ① 鮎 ② 鱈 ③ 鰯
④ 鯡 ⑤ 鰈 ⑥ 鮫鯨
⑦ 海鼠 ⑧ 河豚

クイズ



◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか？次号で紹介します。

◎ 送り先／〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL 0883-22-2241 FAX 0883-22-2242

◎ 締め切り日／平成22年1月11日（消印有効）

チョットひと言

◇ 脳トレ・クイズと季節の吉野川市の移り変わりの写真に挑戦して行きます。（川島町 伊藤さま）

◇ 難しいけど解けた時は気分爽快です。（山川町 新藤さま）

◇ とても難しかったです。でも名前の由来とかも分かり、調べるのがとても楽しかったです。（山川町 横田さま）

◎（前回の回答）

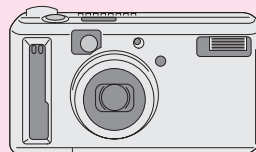
- ① みょうが ② にんにく ③ かぼちゃ ④ ししとう ⑤ おくら ⑥ トマト
⑦ きゅうり ⑧ とうもろこし 応募総数は53通でした。

募 集 要 項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成22年1月11日（消印有効）
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募

集



表紙の写真

市民の皆さんの
声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

…規定…

- 原稿用紙2枚以内（400字詰）
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）

- 締め切り

平成22年1月11日（消印有効）
*投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

…あて先…

〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL0883-22-2241
FAX0883-22-2242

あとがき

台風18号の接近で平成16年10月の台風23号の被害が頭に浮かびました。幸いにも直撃を免れたため大きな被害も無かったようで一安心いたしました。

「天災は忘れた頃にやってくる」と申しますが、地球温暖化の影響でしょうか、思いもよらないゲリラ豪雨での浸水被害が近年各地に増えております。吉野川市でも8月上旬の集中豪雨で市内各地に大きな被害が



平成21年台風9号による浸水
(市役所本庁舎屋上より)

した。

吉野川市は自主防災組織率100%達成されています。ご近所や自治会の皆様と日頃から災害時の対応を話し合い、万が一の場合に備えて自主防災組織での避難訓練などを行っていただきたいと思えます。

この30年間に東南海・南海地震が起きる確率は50～60%と発表されています。

平成7年の「阪神・淡路大震災」の地震の揺れの記憶が少し薄れてきたような気がするの、私だけでしょいか？

岸田 益雄